

NPO法人アート&ソサイエティ研究センター × 東京アートポイント計画

# ARCHIVE

<ピープラスアーカイブ>

「地域・社会と関わるアート」に関するアーカイブ

# March, 2011 OPEN!

@ 3331 Arts Chiyoda

P+ARCHIVEは「地域・社会と関わるアート」に関心のある市民や学生、研究者が情報収集を行うことができるアーカイブを創設するとともに、アートプロジェクトを記録・アーカイブ化する人材を育成することで、「地域・社会と関わるアート」に関するプラットフォームを創出することを目的としています。

「P+」には、3つの<P>の意味：社会とアートの関わりを表す<PUBLIC>、プロセスの重要性を示す<PROCESS>、人と人のつながりを意味する<PEOPLE>がこめられています。

社会に関わるアートは、結果だけではなくプロセスが重要であり、本アーカイブプロジェクト活動のプロセスも大切にしていきたいという思い、そして、「地域・社会と関わるアート」はアート側からだけではなく、人とのつながりとともに成立しているという思いから「P+ARCHIVE」プロジェクトははじまりました。

このようなアート領域の貴重な資料の集積拠点として、また、様々な方々が共にディスカッションできるプラットフォームとして、3つの<P>に思いをこめながら、未来へとつながっていくアートアーカイブを育てていきたいと思っています。

<http://www.art-society.com/parchive/>

#### NPO法人アート&ソサイエティ研究センター

一般市民、芸術家、芸術文化活動実践者及び研究者に対して、都市や地域における芸術文化活動並びにパブリックアートの情報発信及び調査研究・実施活動に関する事業を行い、都市や地域の文化的発展と市民の文化環境の向上に寄与することを目的としています。国内・海外での都市や地域におけるアート活動を紹介する「Public Art Magazine」を定期刊行。

#### 東京アートポイント計画

東京アートポイント計画は、東京の様々な人・まち・活動をアートで結ぶことで、東京の多様な魅力を地域・市民の参画により創造・発信することを目指し、「東京文化発信プロジェクト」の一環として東京都と公益財団法人東京都歴史文化財団が展開している事業です。

都市や地域と結びついたアート活動が日本全国で活発に実践されている現在、美術館や美術専門施設内での活動と異なり、その活動資料や記録は散逸していく傾向にあります。こういったアート活動の資料を保存し、公開し、活用していくことは、単にその情報を蓄積するという役割だけではなく、現在進行形で変わりゆく状況そのものを支え、未来につなげていく文化環境を構築していく役割を担います。

今日、アート・ドキュメンテーションは、日本のこのような文化の基盤を補うものとしてその重要性が目立ってきているといえるでしょう。日本や世界におけるアートプロジェクトやパブリックアートなど、社会とダイレクトに関わりをもつアート活動をアーカイブ化する重要性は、ますます高まっています。

## P+ARCHIVEの収集の柱

### 1 地域・社会に関わるアートプロジェクトやパブリックアートなどの資料収集

- ・カタログ・リーフレット・書籍など
- ・芸術文化系団体・個人が所蔵するコレクションの譲渡資料
- ・現在進行中のアートプロジェクトに関する資料

### 2 デジタル・アーカイブの構築

- ・国内・海外の「地域・社会に関わるアート」に関するプロジェクトの基礎データをウェブ上に公開
- ・プロジェクト名、作品タイトル名、アーティスト名などで検索可能なデータベースの構築

## プロジェクトはいかに進められているのか？ (P+ARCHIVE: 平成22年6月～平成23年3月)

### 1) 連続レクチャー&研究会「アート活動としてのアーカイブ」ゼミ (平成22年7月～平成22年11月)

※人材育成プログラム「Tokyo Art Research Lab」の一環として実施。  
 アーカイブの運営経験者、研究者などを招いたレクチャーを実施するとともに、レクチャーの内容について考察を深めながら、実際にアーカイブを構築するための先行事例の調査、資料収集方法・運営方法について、現行のアートプロジェクトを取り上げ実際にアーカイブ化していく研究会を月1回のペースで実施する。

#### ● 連続レクチャー

- Vol.1 「プロセスとしてのアーカイブ」川俣正 (アーティスト)
- Vol.2 「アーカイブ的思考 (archival mind) について」上崎千 (慶応義塾大学アート・センター アーカイブ担当)
- Vol.3 「メディアとアーカイブ」畠中実 (ICC 主任学芸員)
- Vol.4 「資料(コレクション)を募る方法:アートプロジェクト、アートNPO活動等」嘉藤笑子 (アート・アウトノミー・ネットワークANN代表)
- Vol.5 「生きた組織体としてのアーカイブ構築をめざして」ドミニク・チェン (NPO法人クリエイティブ・コモンズ・ジャパン理事)

### 2) リスト化・収集プロジェクト

レクチャー&研究会での検討成果をもとに、アーカイブとして収集する必要がある収集リストを作成する。収集方法について検討し、実際に国内外の資料の収集に着手する。

### 3) 展示・公開プロジェクト

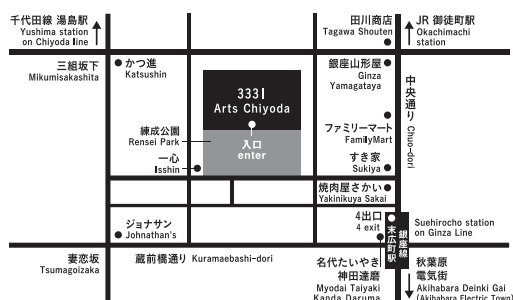
研究会で検討された収集方法・分類方法にしたがって、実際の書棚の構成、ウェブ上での検索プログラム構築とその随時公開を行なう。また、リスト化・収集プログラムで作成した収集リストをもとに収集された資料の整理、ファイリング等、資料の整理作業を行ない公開する。

### 4) コレクション・アクションプロジェクト

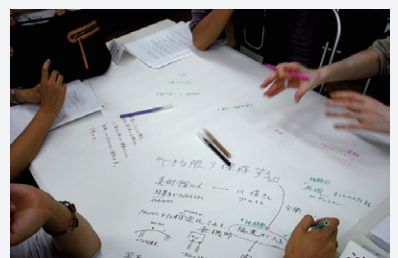
アーティストやディレクター等によるテンポラリーなアートプロジェクトの公開プレゼンテーションを実施。公開プレゼンテーションで紹介された資料をアーカイブに所蔵することも検討する。

### 5) ドキュメンテーション・プロジェクト

レクチャー&研究会で議論された内容や、リスト化・収集プロジェクト、展示・公開プロジェクト、コレクション・アクションプロジェクトの内容を記録し、記録集をつくることで、アーカイブの形成過程を広く発信する。また、現行のプロジェクトをアーカイブするためのガイドラインを作成する。



3331 Arts Chiyoda  
 〒101-0021 東京都千代田区外神田6丁目11-14  
 東京メトロ銀座線末広町駅4番出口より徒歩1分  
 東京メトロ千代田線湯島駅6番出口より徒歩3分  
 JR御徒町駅南口より徒歩7分  
 JR秋葉原駅電気街口より徒歩8分



## ARCHIVE

ビーラスアーカイブ  
 主催：東京都、東京文化発信プロジェクト室  
 (公益財団法人東京都歴史文化財団)、  
 NPO法人アート&ソサイエティ研究センター

### お問い合わせ先



NPO法人アート&ソサイエティ研究センター  
 〒101-0021  
 東京都千代田区外神田6丁目11-14  
 3331 Arts Chiyoda-311b  
 email: info@art-society.com  
 URL: http://www.art-society.com